

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学

就業力育成 3D 教育プロジェクト

<http://3dep.hosei.ac.jp/>

就業力育成3D教育プロジェクト

ビデオ教材には無限の可能性がある！

特任教員 鈴木 美伸（すずき よしのぶ）



略歴

84年成城大学法学部卒。

日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

e-mail:

ysuzuki@stage41.comyoshinobu.suzuki.88@hosei.ac.jp

研究室は一口坂校舎(8F)804

春学期の授業を終え、ビデオ教材の新たな使い方を振り返ってみました。以下の新活用は最初から想定していたものではなく、学生の希望や相談やトラブルの中から得られた教室外でのノウハウですが、発展的に活用できそうです。

▼ビデオ教材の新活用

欠席者の補習用

ビデオ教材授業の日に欠席した学生に宿題として貸出し、後日レポートを提出させました。これを発展的に活用できれば「反転授業」が可能になります。

障がい者予習用

ビデオ教材の会話は教員の話よりスピードが速く、かつ専門的な会話が出るため、聴覚障がい者をサポートするノートテイク者へ事前に教材を渡して予習させる必要性がある。字幕が無いビデオ教材は原稿も渡す方が良い。この対処を確立すれば、「バリアフリー授業」が実現できる。

就活学生の予習用

企業面接の前に、同じ業界のビデオ教材で理解を深めたところ、説明力(志望動機)が格段に向上した。

▼学外の教職員から学んだ新活用

ビデオ教材の可能性を更に広げるためには、学外の教職員との意見交換が最も有効です。そのために5月から「ビデオ教材研究会」を立ち上げてノウハウの蓄積を進めておりますが、それ以外にもビデオ教材を進呈した大学教員を訪ね、使い方や他大学生の反応を聴いております。その中でも、**京都大学高等教育開発推進センター**に集う教員との意見交換が非常に参考になっています。一例をご紹介します。

登場人物の立場毎にグループを分けて討議させる

通常、ビデオ教材の視点は主人公である若手社会人にあり、自分だったらどうするか？と考えさせますが、登場する上司・先輩・同僚・顧客等の視点に立って相互に討議(ロールプレイ)をさせると非常に盛り上がります。同時に若手社会人の言動について客観的な視点をもつことができます。

また、他大学でも様々なビデオ教材を活用していることがわかりました。ビデオ教材はキャリア教育に必須のツールであり、古くから視聴覚教材として小中学校では活用されてきましたが、大学での活用はまだまです。手前味噌になりますが、法政のキャリア教育とビデオ教材はかなり良いセンをいっていると自信もてました。

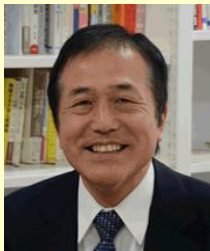


「頭の体幹」の基礎をつくるのが大学教育

教授 藤村 博之（ふじむら ひろゆき プロジェクトリーダー）

あるNPO法人の主催で3年にわたって議論してきた内容がようやくまとまり、報告書として発表されます。テーマは、産学が連携して20歳代の育成を考えるというものです。わが国の代表的な企業11社から育成担当課長が参加し、首都圏の私大を中心とした9大学のキャリアセンター部課長クラスが出てきて検討を重ねました◆この報告書のキーワードが「頭の体幹」を鍛えることです。前号で化学メーカーの人事部長との会話をご紹介しましたが、そのときの考察と関連する内容です◆どんなスポーツでも、体幹がしっかりしていないと強くなれません。それと同じように、「頭の体幹」はどのような仕事に就く場合でも必要です。その基礎をつくるのが大学教育です。アカデミックなトレーニングが「頭の体幹」を鍛えるには最適な方法です。その意味で、文科省が打ち出した人文社会系学部の再編は間違っています。多くの方にお読みいただきたいと思います。

略歴 84年名古屋大学大学院卒。京都大学博士(経済学)。84~89年京都大学経済研究所助手、90~97年滋賀大学経済学部助教授・教授。97年~03年法政大学経営学部教授、04年~IM研究科教授。



大きく羽ばたけ、金の卵！

特任教員 有田 五郎（ありた ごろう）

春学期授業「キャリアデザイン入門」受講者合計741名の成績評価を終えた。毎回のリアクションペーパーと期末テストで半期の採点枚数は1万枚を数える。期末テスト受験者の授業平均出席率は96%であった。高率の理由は、7学部横断の科目で他学部生との交流が出来る事、毎回のグループワークで他者の考えを知り・学ぶ機会となっているというのが構造的側面だ。加えて、教員自身がシナリオを持たずにその場で感じたことを考えて進行している事、毎回のリアクションペーパー採点により緊張感を持たせている事があげられる。いままでの履修者累計約2400名の学生から初めて、100点満点を取る学生が出た。毎回の授業でしっかりとグループワークに取り組むと共に、解説内容のメモを理解・応用しないと取れない点数だ。その学生にはその素質を活かして是非大きく羽ばたいて欲しい。

略歴 70年慶応義塾大学経済学部卒。70~06年伊藤忠商事(株)勤務、06~11年帝京大学と法政大学職員。11年~法政大学教員

「すみません」…でも謝っているんじゃないです？！

教育支援課長 平山 喜雄（ひらやま よしお）

ファミレスでのやりとりの話です。アルバイトの店員さんが、入ってきたお客様に「いらっしゃいませ。禁煙席、喫煙席のご希望はございますか？」と、接客マニュアルで習った通り声をかけました。「どちらでもいいです」と返事が返ってきたので、比較的空いている喫煙席に案内したところお客様に嫌な顔をされてしまった。「たばこは吸わないけど、もし禁煙席が満席なら我慢する」ということだったようです。そこでこの人はマニュアル通りではなく、自ら工夫して「おたばこは吸われますか？」という聞き方に変更してみました。しかし、今度は先輩に「お客様に「すみません」と言わせたらダメ！」と怒られました。お客様に謝らせてるのはけしからんというこらしいです。



法政大学法学部法律学科卒。
学務部教育支援課長

マニュアル人間の弊害が話題になって久しいですが、マニュアルを超えた対応をしようと思ってもうまくいかないこともあるようです。ケースバイケースの対応が必要ということですが、結局、それはその時々で最適な判断ができるための基礎知識や経験が重要ということ。まさにそれを学び、鍛えるのが大学の役割のような気がします。インターンシップもそういう経験のひとつになるのでしょうか。でも「吸いません(すみません)」は「すみません」じゃないので謝ってるというのは考えすぎじゃないの。どうでしょう先輩…？！

◆夏のプログラム

- ・今年度の「はたらく力測定アセスメント(HAT)」には、これまでで最多の83名の参加者が集まりました。半数以上が1年生でしたが、ビジネスゲームではたいへんな盛り上がりを見せ、みごと目標額を達成しました。いきいきと楽しく、チーム一丸となり取り組んでいる姿が印象的でした。
- ・ビデオ教材研究会(第4回)は集中勉強会と題し、授業の実践報告やビデオ教材・授業開発の自由討議、またビデオ教材制作でご協力いただいた企業から、人事採用担当者・能力開発担当者を招いてパネルディスカッションなどを行います。

- ◆編集後記：青山学院大学と一緒にいるインターンシップ・プログラムですが、当初の狙いと違い1・2年生の参加者が少なめでした。学生はすでに「インターンシップ≒(ニアリーイコール)就活」いう意識になってしまったようで、インターンシップという言葉が逆に低学年には響かなかったようです。なんか勘定合って銭足らずって感じで、難しいです… <事務局平山>

法政大学 就業力育成 3D 教育プロジェクト (事務局:学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL:03-3264-9520 WEB: <http://3dep.hosei.ac.jp/>

就業力育成3D教育プロジェクト